

オスカー・ワイルド研究

第16号

目 次

巻頭言 会長 原田 範行 (5)

《論文》

ハーディとワイルド——田舎、都会、イングリッシュネス
金子 幸男 (7)

バジルとはいかなる画家か
——『ドリアン・グレイの肖像』の絵画考察 桐山 恵子 (25)

Wildeの受容——映画 *The Importance of Being Earnest* にみる
新しさの変容 池田 祐子 (37)

ワイルドと宝飾 高橋 美帆 (55)

『ペイシャンス』から『ユートピア有限会社』へ
——ワイルド、アメリカ、アイルランド 金山 亮太 (77)

オスカー・ワイルド文学における原点としての童話
——芸術至上主義と宗教意識の相克
宮本 裕司 (95)

“To Circle Round One Centre of Pain”:
Oscar Wilde, Thomas Hardy and the Human Condition
Neil Addison & Barnaby Ralph (115)

《書評》

新谷好著『英国世紀末文化とオスカー・ワイルド』

浦部 尚志 (141)

Dominic Janes, *Oscar Wilde Prefigured: Queer Fashioning and
British Caricature, 1750-1900*

大久保 譲 (146)

原田マハ著『サロメ』

緋田 亮 (151)

執筆者紹介 (157)

学会記録 (158)

大会発表要旨 (160)

協会規約 (164)

役職者一覧 (166)

投稿規定 (167)

編集後記 編集委員長 鈴木 英明 (168)